## 東洋陶磁学会 第三十四回大会のお知らせ

この度、 奮ってご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。 新緑の候、会員の皆様には益々ご清祥の事と存じます。 平成十八年度の大会を、 左記のとおり開催致します。

東洋陶磁学会

記

\* テー \* 日 7 平成十八年十月六日 (金)・七日 (土)・八日 (目

\* 会 加賀市文化会館二階・二〇一・二〇二会議室

(石川県加賀市山代温泉北部二丁目六十八番地 電話 〇七六一 -七七 - 二八一一)

(〒922-0242 石川県加賀市山代温泉一八-一一七 Tel.0761-77-4113) 懇親会・宿泊会場「ホテル大のや」 http://www.hotel-oonoya.jp/

七日(土)午後一時より受付 午後一時三十分開会

東洋陶磁学会常任委員長挨拶 伊藤郁太郎

加賀市市長挨拶 大幸 甚

九谷焼について 「九谷焼研究の現状と課題」 司会進行:西田宏子・ 佐々木達夫

伊藤嘉章

「九谷焼の伝統と創造」 「九谷で発掘された色絵窯跡」 徳田八十吉 垣内光次郎

「八幡若杉窯跡の発掘」 九谷生産技術の系譜」 野 上 藤田 建紀 邦雄

「史料が語る九谷・有田の関係」 「加賀工芸と九谷焼」 伊藤 山崎 和雅 剛

「欧米の九谷焼受容」 「フランス・ジャポニズムと九谷焼」 Nicole Rousmaniere 今井

歓迎挨拶と九谷焼紹介 北出不二雄・吉田美統・須田菁華・中村元風 午後六時三十分~ 司会:嶋崎丞 於・ホテル大のや

\*見学会(貸切バス)

**六日**(金)午後一時十五分 金沢駅西口発

男・垣内光次郎)―金沢市埋蔵文化財センター(案内発表: 庄田知充・佐々 九谷焼を見学 木花江)で九谷A遺跡・九谷窯跡・八幡若杉窯跡・金沢城下町遺跡出土の 13:15 金沢駅西口発→石川県埋蔵文化財センター(案内発表:井上喜久 →金沢駅 17:30 **頃**着(自由宿泊)

八日 日 午前八時「ホテル大のや」発 午前九時五十分「九谷焼窯跡展示館」発

> 13:20→13:30 石川県九谷焼美術館「古九谷・吉田屋展」の見学(案内発 間になります)→10:40 九谷窯跡見学 11:30→12:20 蘇梁館(江戸後期の 房、店舗見学(案内:須田菁華)→8:45 工房から 550m歩いて九谷焼窯 16:00→解散(16:10JR 小松駅、16:30 小松空港、17:20JR 金沢駅) 表:中矢進一)14:30→15:10 小松市錦窯跡展示館(案内発表:宮下幸夫) 北前船主屋敷)にて昼食、大聖寺藩主菩提寺実性院見学可能 バス乗車(朝の見学に行かず、九谷窯跡から見学する方の集合場所と時 跡展示館見学(案内発表:田嶋正和)→9:50 展示館近くの駐車場で貸切 8:00 貸切バスに荷物のみ乗せ、ホテルから 60m歩いて須田菁華窯工

九日(月・祝日)各自・自由見学

世紀美術館など開館 石川県立美術館・石川県立歴史博物館・金沢市立中村記念館・金沢 21

\* 費 用

・大会参加費(参加者全員)  $\stackrel{-}{\prec}$ 000円

・懇親会費(懇親会のみ)

八、〇〇〇円

・「ホテル大のや」東洋陶磁学会宿泊特別プラン(別紙参照):懇親会・ 七日宿泊・朝食・空港/駅よりバス送迎付 111、000円

・見学会費 六日(申込者のみ・見学費等込み)

一、五〇〇円

や詳細について E-Mail で連絡することがあります。) (申込の際 E-Mail をお持ちの方はアドレスをお知らせ下さい。変更 八日 (申込者のみ・昼食・見学費込み) 三、五〇〇円

\* 交 通(別紙参照)

\* 宿 泊 (別紙参照)

「ホテル大のや」東洋陶磁学会宿泊特別プラン(懇親会・七日宿泊・ 朝食・空港/駅よりバス送迎付 一二、〇〇〇円)をご利用下さい。

## 注 意

- ・参加申込は**九月十五日迄**に、振込用紙にてお願い致します。
- 発表の演題および順序が変更される場合がございます。

一〇一-〇〇六一 東京都千代田区三崎町二―六―九 三栄ビル二〇一東 洋 陶 磁 学 会  $T \in L$   $F \in A$  Xhttp://homepage3.nifty.com/toyotoji/ 〇三-三三九-一二七七